

## 令和7年度 学校推薦型選抜 I 教科別推薦入試試験問題

最近、日本の公教育において、教員のなり手不足が深刻となっている。

2021年5月時点で、公立小中学校の約20校に1校で教員不足が発生しており、全国で1701人の教員が不足していた。また2023年度の始業日時点では、教員不足が悪化している自治体が42.6%に上り、特に小学校での不足が深刻である。非正規教員の増加もみられ、小学校の学級担任の11.49%が臨時的任用教員（いわゆる非常勤）であり、特別支援学級では23.69%に達している。正規の教員採用試験の倍率低下も顕著で、2022年度の全国・全校種での倍率は3.4倍で過去最低を記録した。特に小学校教員の倍率は2.3倍と低く、教員のなり手が減少していることがわかる（注）。

こうした現象がおこる社会的な要因を、全国の人口動態などを含めてできるだけ多角的に考察したうえで、それに対してどのような解決策がありうるか、あなたの考えを800字程度で述べなさい。

（注）数値等のデータは教育新聞電子版：用語解説 2024-02-01 (<https://www.kyobun.co.jp/article/2024021291>) による。

下のメモ欄は下書き用です。

メモ欄

受験番号



